

Aprire



秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

No. 38
2012

特集

「国際化」とは今
秋田大学の挑戦



A p r i l 2 0 1 2 . 1 0

とは今の挑戦



秋田大学国際戦略の四領域

基本理念

21世紀の国際社会が求める人材の育成
地球規模および各地域の課題解決への貢献

国際的人材育成

- 短期海外研修事業の制度化(2011年度まで)
- 入学1年目の正規留学生および短期留学生住居の確保(2012年度まで)
- 留学生数200名の達成(2013年度まで:学長マニフェスト)

国際的学術研究

- 国際資源学教育研究センター戦略の策定(2010年度まで)
- 外国人数員・研究員のための生活ガイドの作成(2011年度まで)

秋田大学

国際連携協力

- 国際交流協定締結事項の策定および協定締結基準の明確化(2010年度まで)
- 海外拠点地の設置(2012年度まで)

国際交流センター

国際交流体制整備

- 過去の留学生情報の収集・データベース化(2011年度まで)
- 連携・役割分担の指針の策定(2011年度まで)

(2011年3月作成)

海外の大学と提携を結べば、国際化といえるのか？答えはNO。留学生が増えれば、国際化したキャンパスといえるのか？この答えもNO。試行錯誤を重ねてきた秋田大学の「国際化」は今、その方向性を示し、質を高めていく段階に差し掛かっている。10月1日現在、留学生は26カ国・地域からの211人。協定を結んだ初の海外拠点となる「秋田大学モンゴル事務所」を、国の科学技術大学内に設置した。環境は整いつつある中で、問われるのは今後の展開。研究の場、そして学生たちの探求のフィールドをいかに広げていくのか。真理を求めるアカデミックな世界で、秋大の挑戦は続く。

秋田大学初の海外事務所を 資源国モンゴルに開設

国際資源学教育研究センター
センター長 水田 敏夫

秋田大学は中期目標の柱に「国際化」を掲げ、学生教職員の海外留学・派遣を促進し、アジアの国々をはじめとした諸外国の留学生・研究者の受け入れ環境の整備に努めています。国際化の基本の一つである資源国との連携推進を目的として、10月8日、大学初となる海外事務所を資源国モンゴルの首都ウランバートル市中心部のモンゴル科学技術大学内に開設しました。

室内には秋田大学の資料や入試関連書類を備え、常時、日本への留学や研修を希望するモンゴルの高校生や大学生に対する広報の場となります。さらに、テレビ会議システムを利用し、モンゴルと日本(秋田大学)とで遠隔授業や留学希望者の面談、渡日前オリエンテーションを行います。学術交流で訪れる秋田大学の教員、学生は本事務所をベースに、モンゴルにおける共同研究の遂行を図るほか、科学技術大学の資源学教育および研究体制の整備への更なる協力を目指しています。

モンゴル科学技術大学と秋田大学は、平成21年10月22日に国際交流協定を締結しています。最近では、地球資源学専攻の教員が中心となり、両大学生のフィールド調査の指導を行っています。

今回、モンゴル科学技術大学に海外拠点が設置されたことで、今後のモンゴル科学技術大学との交流が一層、活発化し、平成26年度に設置予定の国際資源学部(仮称)にのっけの追い風になることとでしょう。



持続可能な国際資源学SS プログラム2012始動

国際交流推進役 高橋 嘉行



国際資源学教育研究センターの目玉事業である「資源学に関するショートステイ(SS)プログラム2012」が10月15日に開講しました。期間は10月15日～11月9日。昨年に続き2回目となる本コースの参加者は、秋田大学の協定校であるモンゴル科学技術大学、東カザフスタン工科大学、ボツワナ大学からそれぞれ3名、合計9名の資源学を学ぶ大学院生です。このうち女性7名を占め、かつては男性の職場であった鉱山事業にも女性の進出が盛んになっていることを感じさせてくれます。

初日となった15日の開講式では、吉村秋田大学長が、秋田大学の得意とする資源開発分野で多くのことを学び、国の発展に貢献するよう激励のメッセージを伝えました。また、昨年のコースに参加した後、見事に文部科学省の奨学金を獲得し、今年の10月から本学の大学院生になったボツワナ大学出身のコイツエさんから「将来、秋田大学に戻って来よう」と誘いの言葉がありました。

参加者は、期間中、国際資源学教育研究センター専任教員らによる英語の講義、八幡平へのフィールドワークや企業見学等の実習など、盛りだくさんのプログラムで資源について学びます。

本プログラムは、昨年6名の参加学生で開催されましたが、送り出した3大学から高く評価され、今年度は、参加大学が航空賃を負担するコストシニアに発展しました。また、昨年度のJASSO(日本学生支援機構)の奨学金に加え、今年度はJSPS(日本学術振興会)からの支援もあり、経済的基盤が強化されました。

全てが英語で実施されている本プログラムは、秋田大学が目指す国際資源学部(仮称)の魁となる役割を果たすものと期待されます。

特集

「国際化」
秋田大学

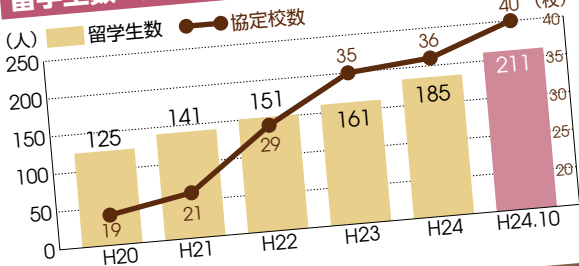
留学生200人突破



秋田大学で学ぶ留学生が、平成24年10月1日現在で211人(26の国と地域となりました。吉村昇学長は吉村プランの中で「留学生200人構想(5カ年計画)」を打ち出していました。当初の目標であった平成25年度

を前に目標を達成。国際化の輪が広がっています。留学生増加の背景の一つに、国際交流協定校の拡大とAUEP(秋田大学国際交流体験プログラムの開設があります。現在、大学間協定校は20の国と地域、40大学に広がり、学術・学生交流が年々活発になってきています。また、平成22年度には、英語で日本語・日本語を学べるAUEPを開校し、従来に比べ多様な地域からの学生を受け入れることが可能となりました。JASSO(日本学生支援機構)の奨学金事業に3年連続で採択され、留学生に対して経済的な支援ができるようになり、また、学部から大

留学生数と協定校数の推移 (平成24年10月1日)



学院進学を目指す学生も年々増えています。10月1日には、学長・理事らの出席のもと、秋田大学で初めてとなる秋季留学生歓迎式を開催。平成24年度の新規留学生59名を歓迎しました。



留学生から一言

カルロス・ロドリゲス

チリから来ましたカルロス・ロドリゲスと申します。英語と日本語をスペイン語へ翻訳する勉強をしています。日本に留学できると思ってもいませんでしたので、秋田大学で勉強できて、本当にLuckyだと思います。秋田は自然が多く、非常に美しい所です。自然が大好きな私にとって、きれいな景色を見ることができ、とてもうれしいです。

私は日本の文化や歴史に興味があるので、秋田大学で勉強している間は、日本についてできるだけ多くのことを学びたいと思っています。そして、日本語の腕もあげたいです。日本を深く理解すること、で、日本語で書いてある本や文章をスペイン語に翻訳する時に、表現がもっと豊かになると思うので、色々なことを経験できるように頑張ります。



国際資源学部(仮称)の創設
秋田に資源教育研究の世界的拠点形成

新学部創設・学部改組準備室
総務課長 福島 哉史

資源教育研究分野において100年の歴史を有する秋田大学。専門技術、国内外の人脈の蓄積を礎に「資源探査・開発から環境リサイクルまで」を国内で唯一体系的に学べる基盤がここにはあります。これまで培ってきた資源学教育研究に加え、我が国の世界的資源戦略に貢献するなど、新たな国益を生み出すための機能を強化するべく、日本における資源学教育の国際拠点となる「ナショナルセ

ンター機能を有した「国際資源学部(仮称)」を新たに設置します。「国際資源学部(仮称)」では、国内外の主要大学や企業、諸機関等との連携体制を構築し、世界の第一線で活躍する研究者や技術者を結集します。また、全学生が国内外の資源の現場で実習・演習を行うことを重視したカリキュラムを構成。これらを通じて国際資源分野において求められる、実践的かつ学生が互いに学

び合う「人文社会系・技術系の融合型教育」を展開します。これらにより「国境を超えた地球的視野で資源政策を担えるマネジメン ト人材」「世界をフィールドとして実践力を発揮できる技術人材」といった文理双方のグローバル資源人材の養成を実現します。そして、秋田への貢献はもとより、日本国内ひいては世界の持続的発展に寄与することを目指します。

液晶分子の配向現象は まだまだ謎だらけ



近年、液晶テレビがブラウン管テレビに取って代わり、画面の高精細化、画質の進化には驚くばかりです。そもそも液晶とは、液体相と結晶相(固体)の中間相を持つ化合物の総称で「流れる結晶」とも表現されます。液晶画面を軽く指で押してみてください。色が変わるはずです。普段の液晶分子は結晶のように規則正しく並んでいます。流動性を持つため押した部分の分子の並びは容易に歪みます。電圧印加によっても変わります。それによって液晶中を通過する光の状態(偏光)が変わるので、様々な画面を表示することができます。

表示に使われている液晶分子は細長い化学構造をしています。単にテレビのパネルの中に液晶を流し込んでも、分子の長さ方向の向きがきれいに揃っていないと画面の表示はぐちゃぐちゃ

になります。指で押したり電圧をかけて向きを変えてみたりしても元の状態にすぐに戻るこれらはすべてガラス基板面に施された「配向膜」のおかげなのです。配向膜が液晶分子の並ぶ方向を決め、分子が動いても元の並びに戻す役割をしています。配向膜は一般に「ポリイミド」という高分子材料をガラス基板上に薄く塗り、その上を布で擦って作ります。一見乱暴と思われる方法で小さな分子の並び方を精密に制御するのです。しかし、どうしてこの方法で液晶分子の並ぶ方向を決めることができるのか、実はすべてが解明されてはいないのです。私の研究では従来の定説に反した配向現象をいくつか報告しています。試されていない高分子材料と液晶分子との組み合わせは膨大であり、新しい現象に出会えるチャンスがある研究テーマです。

私の液晶配向の研究における一例として、液晶分子の方向を部分的に変えて配向させた結果を紹介します。片方のガラス基板上の配向膜に文字、もう一方には学章の形に、分子の長さ方向が90度異なる領域を作り込みました。これには紫外線による高分子表面改質技術を用いています。この2枚のガラス基板で液晶を閉じ込め偏光板を使うと、偏光板の有無やその位置で見え方が変わる。これは潜像技術の一つとしてセキュリティ素子に応用することが可能です。

液晶デバイスに不可欠な配向技術。そのメカニズムが解明されていないにもかかわらず、多くの製品が出回っているという現状ですが、謎に包まれている分、さらなる性能向上や新しいデバイス創製の「可能性を秘めている」研究分野だと言えます。



偏光板なし



偏光板を上に乗せたとき



偏光板を下に乗せたとき

大学院工学資源学研究所／電気電子工学専攻
准教授 山口 留美子
Yamaguchi Rumiko

〈専門〉電子デバイス・電子機器、電子・電気材料工学、応用光学・量子光学

あなたが決める最優秀賞

NHK 秋田放送局

キズナレシピ
B級グルメstyle

「キズナレシピ」最終審査大試食会

17日(土) 午前11時30分～午後3時

全国から公募した、秋田と被災地の食材をコラボレーションさせた新しいB級グルメ「キズナレシピ」のグランプリ作品を決定する最終審査を、ご来場の皆さまの投票で行います。最終ノミネート3作品を試食して気に入った作品に投票してください。

無料
試食会

※各食先着100食限定



「映画を学ぶ」ということ



私は大学でロシア語やロシア文化論を教えています。当初、専門は文学でしたが、後にロシア映画の研究もするようになりました。自己紹介の機会があるといつもこのように始めるのですが、今回は映画全般の話をしたと思います。

いま映画の研究をしていると書きました。しかし、映画の研究とは一体何なのか、一般の人からはなかなか理解してもらえないことがあります。映画を見る人は大勢いるのに、映画について学ぶ・考えるということが、どうもうまくイメージできないようなのです。



モスクワの映画館。たくさんのポスターが飾られている。

どのような位置付けにあるかを検討することから始まっています。でもそれだけに限定されず、やがては映画と社会の相互関係を探ることにもつながっていくくらい領域は広大なのです。

私自身もソ連時代のミュージカルやアニメーションを研究することで、世界映画史でのロシアのユニークな位置付けを考えると同時に、当時の社会との関係についても検討してきました。ロシア映画なんて随分狭い研究テーマだと思われがちですが、こうした研究の成果は授業にもいろいろ活用できるものなので、個人的にはいいテーマを選んだと秘かに思っています。

教育文化学部／欧米文化講座
教授 長谷川 章
Hasegawa Akira

11月17日(土)・18日(日) 午前10時～午後5時
秋田拠点センターALVE・きらめきコート

キズナ屋台村

ふるさとの食 につぼんの食

県内各地のご当地グルメや福島、宮城、岩手の物産が大集合!!おいしく食べて被災地を応援しよう!!

東北の未来は
食にあり!!

ステージは
いずれも 観覧自由

キズナレシピ
PRトークショー

10/17 11:30～

料理研究家
コウケンテツさん登場!



キズナレシピ
表彰セレモニー

10/17 16:00～

各レシピの投票結果と最優秀賞レシピの発表をします。みなさんもしどし参加してください!

※来場多数の場合は観覧制限を行うことがあります。※会場は入場無料ですが、各屋台の商品は有料販売です。

主催／「ふるさとの食 につぼんの食」秋田県実行委員会
(秋田県、秋田県農業協同組合中央会、秋田県漁業協同組合、秋田県新聞社、NHK秋田放送局)

問い合わせ 「ふるさとの食 につぼんの食」秋田県実行委員会事務局(NHK秋田放送局内)
電話 018-825-8111(月～金・祝日除く 午前9時～午後7時)



入場無料

日時 11月17日(土)
18日(日)
午前10時～午後5時

場所 NHK秋田放送会館・ALVE
※JR秋田駅東口直結、徒歩3分

秋田大学の医学教育を国内外へ発信

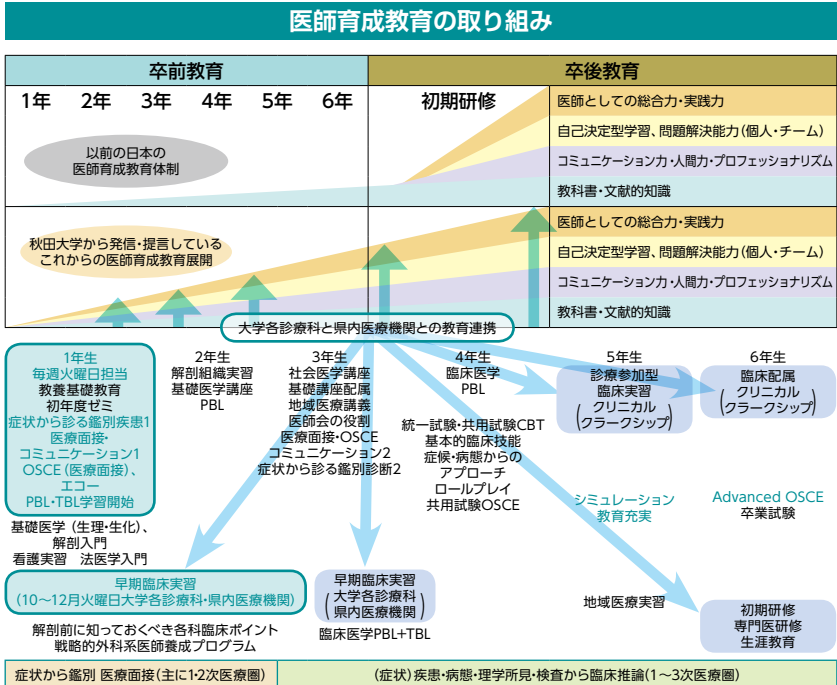
県内の医療機関と一体化した医学教育体制を生かして

秋田大学医学部では1年生からの医師育成教育に取り組んでおり、文部科学省、厚生労働省、日本医師会、日本医学教育学会の各委員会・学会等で評価されている。これからの日本の大学教育の在り方について特集した朝日新聞出版の「AERA(2012年7月30日号)」で掲載されるなど全国的にも注目を浴びる。この取り組みについて、長谷川寄附講座教授に話を聞いた。

日本医療再生に向けて 1年生からの症例ベース実践教育の展開

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座の開設から4年が経過しました。この間、医学教育部、卒業臨床研修・医師キャリア形成支援センターにおける活動を通じ、医学部附属病院の各診療科・県内医療機関の指導医の皆様とともに、医学部1～6年生、卒業後研修・生涯教育とつなぎ目なく医学教育に携わってきました。この際、全国に発信する大きな推進力になったのが、医学部創設40年来、県内医療機関と一体化した秋田大学の歴史のかつ先駆的な医学教育体制でした。1年生からこの体制で医師育成教育を始めることにより、将来どの分野に進んでも医師として当然の総合的な診療能力や医師と患者の関係、多職種連携チーム医療を良好に構築できるコミュニケーション能力の育成が推進されてきています。また、1年生で全国初の「症状から鑑別診断」医療面接トレーニング」模擬患者観的臨床技能試験OSCE

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座の開設から4年が経過しました。この間、医学教育部、卒業臨床研修・医師キャリア形成支援センターにおける活動を通じ、医学部附属病院の各診療科・県内医療機関の指導医の皆様とともに、医学部1～6年生、卒業後研修・生涯教育とつなぎ目なく医学教育に携わってきました。この際、全国に発信する大きな推進力になったのが、医学部創設40年来、県内医療機関と一体化した秋田大学の歴史のかつ先駆的な医学教育体制でした。1年生からこの体制で医師育成教育を始めることにより、将来どの分野に進んでも医師として当然の総合的な診療能力や医師と患者の関係、多職種連携チーム医療を良好に構築できるコミュニケーション能力の育成が推進されてきています。また、1年生で全国初の「症状から鑑別診断」医療面接トレーニング」模擬患者観的臨床技能試験OSCE



100年以上前から良医育成のために医学教育体制を充実させたことで、人口9万人ほどの地方都市に全米から多くの患者が訪れる世界屈指の病院となった「メイヨークリニック」を訪れる機会がありました。欧米諸国で進んでいる基礎から臨床まで統合された症例・実践ベースの医学教育体制をそこで目の当たりにし、感銘を受けました。各分野の医療知識が数倍となった今の時代には、国民が期待する医師を育成するために各分野が協力して症例・実践ベースの医学教育

米国の歴史から学ぶ医学教育改革の必要性

100年以上前から良医育成のために医学教育体制を充実させたことで、人口9万人ほどの地方都市に全米から多くの患者が訪れる世界屈指の病院となった「メイヨークリニック」を訪れる機会がありました。欧米諸国で進んでいる基礎から臨床まで統合された症例・実践ベースの医学教育体制をそこで目の当たりにし、感銘を受けました。各分野の医療知識が数倍となった今の時代には、国民が期待する医師を育成するために各分野が協力して症例・実践ベースの医学教育



内科・循環器救急・先端シミュレーショントレーニング

医学部／総合地域医療推進学講座寄附講座教授
医学教育部 長谷川 仁志
Hasegawa Hitoshi

秋田ダイハツ販売株式会社は、夢を追う秋田の若者を応援しています。

市立船橋のエースとして高校総体を制した松田正俊は通算5年目のシーズンを迎えている。彼の秋田での夢はそのままブラウブリッツ秋田がリーグを目指しての戦いそのものだ。彼は試合前、チームの誰よりも怖い顔をしている。それは「エース」として自分の結果がチームの結果に直結することを自覚している証拠だ。そんな彼がゴールを決めた天に向かって咆哮するとき、サポーターは「リーグに向かって戦う姿に自分を重ね合わせる。彼の叫びは自分自身にかかっている重圧からの開放だと思ふ。自分の夢を追っている人の姿は美しい。」

Model : ブラウブリッツ秋田 FW 10番 松田 正俊

燃費もうれしい
しあわせ家族の感動空間

TANTO
アイドリングストップ

タント L
122.525万円
車両本体価格(税別)

2WD/CVT
2WD/CVT 燃費 25.0km/ℓ

秋田ダイハツ
本社 / 秋田市御所野湯本三丁目1-7号 Tel.018-889-8700(代)
http://dd.daihatsu.co.jp/akita/ 秋田ダイハツ 検索

【お客様相談室】
本社 ☎0120-62-4125
(受付時間 休日は9時から18時00分(12:15～13:15) 土・日・祭日も土・日・祭日も10時から18時00分(12:15～13:15) となります。)

大館店 ☎0186-42-3208 本荘店 ☎0184-22-3027
能代店 ☎0185-52-1225 大曲店 ☎0187-62-3285
士崎店 ☎018-846-5621 角館店 ☎0187-54-3507
八橋店 ☎018-862-4115 横手店 ☎0182-32-0256
仁井田店 ☎018-839-2061 湯沢店 ☎0183-73-8113

もっと軽にできること。 DAIHATSU



秋大生、求む!!

クラブ・サークルの取り組みをアプリーレで紹介してみませんか。企画広報課までお気軽にご連絡ください。

●お問い合わせ先 **秋田大学 企画広報課**
●TEL:018-889-3019 ●FAX:018-889-2219
●E-mail:kouhou@jimmu.akita-u.ac.jp

61年前、プロ野球の試合が開催されたこともある秋田大学野球場。そんな歴史を持つ野球場をホームとした、秋田大学の野球部をご紹介します。秋田大学軟式野球部は、約20名のメンバーで活動しています。今年の夏は全国大会にも出場しました。「全国レベルの守備・バッティングはすごかったです」と主将の阿部拓郎さん(工学資源学部2年)は振り返ります。大会は秋田県で開催され、地元ということで大きく注目されましたが、秋田大学軟式野球部は惜

しくも京都文教大学に敗れてしまいました。阿部さんは高校時代に軟式野球で全国制覇を経験。それ以来の大舞台だっただけに、さぞ悔しかったことでしょう。現在は上級生のメンバーが中心となつて練習に励んでいるそうです。

昨今の強烈なサッカースタームなどに押され、野球は以前ほど熱狂的に支持されることはなくなりました。高校で野球に打ち込んでいた人も、大学生になるとサッカーや他のスポーツに転向してしまふのはよくあるケース。それでもなお、彼らが野球の道を選択し続けたのはなぜでしょうか。

「それは野球が一番楽しいからです。高校ではきつい練習が主体でしたが、秋田大学では野球を楽しむことができます」。秋大生の皆さんも、阿部さんと一緒に、楽しい野球を始めてみてはいかがでしょうか。

秋田大学報道局(AUP) 佐藤 慎晃

サークル紹介 club activities 秋田大学軟式野球部



秋医祭(医学部祭)



秋田大学祭

●詳しくは → **秋田大学** で検索!!

「今日はオープンキャンパスが行われています。たくさん的高校生がいますね。早速行ってみましょう」

7月28日、手形キャンパス正門での撮影。オープンキャンパスに訪れた高校生を見る中、カメラをのぞき、学生ナビゲーターが元気よくキャンパス内に駆け出しています。

秋田大学では、大学で行われるイベント等の様子をより多くの方々にご紹介できるように、大学ホームページから「秋大キャンパスNAVI」を動画配信しています。これまで、オープンキャンパスと、18年ぶりに開催された秋医祭

(医学部祭)の様子をお届けしてきました。ナビゲーターは秋田大学の学生。実際にイベントを体験し、学生の目線でレポートをお届けしています。

10月20日と21日に開催された秋田大学祭でナビゲーターを担当した、教育学部4年生の渡辺孝さんは「一日があつという間に感じるほど楽しく撮影することができた。高校生をはじめ多くの人たちに秋田大学をもっと知ってもらいたい」と話してくれました。

皆さんもぜひ一度、ナビゲーターと一緒に秋田大学を「体験」してみませんか。

学生がナビゲート 秋大キャンパス NAVI 大学の匂をお届けします



オープンキャンパス

Column

文章力up



五十歳。地道な研究を積み上げ、世界的な表彰を受ける方がいます。そう、京都大学のY教授。iPS細胞という言葉が、国内外で急速に認知されるようになり、心境は「さわやかな秋晴れ」でしょうか。これから向き合う様々な研究上の壁にも、戦闘正面から向き合っていくのでしよう。そんな五十路を進む気がします。四十八歳。話題のiPS細胞を巡って急速に顔と名前を知られ、気が付くと時の人になっていた男性もいました。肩書きは「元」になってしまったものもあり、何を使っていたのか分からない。仮に「評価」をするにすれば、自らを犠牲?にして、情報判断の難しさと、論文をはじめとする医学界の「不思議」さを世に示してくれた、とでもしておきましょう。心境は、知る術もありません。

ただ、彼に聞かれて「誤報」を書いてしまった新聞記者の気持ちは分かります。最悪。基本作業を怠った代償は、記者生命を断つものでした。それぞれのアラフィフ(around fifty(50歳))。もう一人、悩める四十九歳もありました。輝く同級生(Y教授と学年だけは同じ)を横目に、自らの生き様を振り返り、時に嫉妬。「ま、彼は理系で、俺は文系。生きる道が違うしね」と訳の分からない理由を付けて、現実逃避。締め切りが過ぎてしまった、この原稿を懸命に書いています。どんな五十路になるのか、本人にも不透明のようです。こんなことを先日、秋田県立大学に招かれ、学生さんたちにお話しさせていたいただきました。学部の3年生と大学院生を対象にした、文章講座の冒頭の「無駄話」です。

文章を考える上で、それぞれの「おっさん」の周辺には、様々な文章のヒントがありました。もっとも参考になるのは、四十八歳の男性です。情報確認。プロの新聞記者が間違った背景には、何があつたのでしょうか。他のメディアより先に報じたい。その気持ちは裏付けの情報確認が、あまりにもずさんだったというものでしょう。電話一本かければ、そのリスクはほぼ解消されていたはずです。胡散臭さに気が付く局面は、何度もあったはず。なぜ、その違和感にこだわらなかったのか。

学生たちには、機会があるごとに様々な視点を持つことの大切さをお話しさせていたと思っています。「あれっ」と思った自分の感性を大切にしよう、と、伝えていきます。この驚き(発見)を文字にした時に文章は輝きます。自らの視点を盛り込めた原稿には、他を寄せ付けない迫力がでるものです。自らの感性、視点を武器(軸)に、自分の言葉で表現する。そんな文章を目指したいものです。

先の県立大学の講義は、九十分で一回限りの単発でした。限られた時間で、学生さんたちに文章の「極意」を大急ぎでお伝えしました。ちよこつとだけ、再現してみます。

原稿(回答)用紙を前にして①まず、深呼吸。なぜ、原稿用紙を前にしているのかを考える②誰に、何を伝えたいのか。考える③自分はどう思っているのか。自らの視点、を考へる④書き出しを考える。どの方向に自分の原稿の「進路」を考える。

ここまでが、ペンを持つ前の作業です。そして、書く。限られた持ち時間をフルに使って一気に書く。考えるという「事前準備」をしておけば、原稿用紙の1枚や2枚や3枚は、それこそ悩む前にゴールしています。

秋田大学国際課長 (元朝日新聞記者) 高橋 康弘

A p r i l 2 0 1 2 . 1 0

国際交流

蘭州大学から



蘭州大学のキャンパスは子どもの遊び場にもなる。

甘粛省国際研修班の一員として、9月から中国・甘粛省蘭州市に滞在しています。友好都市との協力を促進することを目的に甘粛省が企画し、秋田大学からの派遣職員は私で4人目になります。期間は2カ月です。残念なことに、私の到着から間もなくして日中関係は急激に悪化し、関東軍が柳条湖事件を起こしたとされる9月18日には中国全土でかつてない規模のデモが行われました。私の滞在する蘭州市も例外ではありません。その日をまたいだ数日間、キャンパスから外出しないよう指示を受け、不安な時間を過ごしました。

街で反日を訴える看板等を目にするようになったのもこの頃からです。そういつた昨今の厳しい世情にも関わらず、甘粛省人民政府や蘭州大学の皆さんは、いつも安全に気を配ってくれ、励ましてくれます。厳しい情勢ゆえに、温かさをより感じ、感謝の気持ちが増しています。蘭州大学と秋田大学は平成17年8月1日に国際交流協定を締結し、現在まで18名の留学生を受け入れていますが、秋田大学からはこれまで2名の学生を派遣しており、今は教育文化学部として平山知美さんが留学生として現地で学んでいます。また、学生だけでなく職員交流も盛んに行われており、今回私が参加している甘粛省国際研修班のほか、秋田大学では平成18年から現在まで、3名の職員を3カ月間受け入れ、学生への中国語指導や職員への中国語授業も行われました。今年は私自身も蘭州大学外事処でのインターンシップとして、日常業務のサポートや学生向けの留学説明会で講演をさせていただきました。

「百聞は一見に如かず」と言うとおり、現地で目の当たりにして気付くことは少なくありません。皆さんもご存じのとおり、近年における中国の経済発展は著しく、都市部の住民は先進国と比較しても遜色ない生活を送っています。しかし、私が滞在している甘粛省は内陸部に位置し、経済的発展が遅れている地域でもあります。都市部とは対照的な地方農村部の生活からは、中国の持つもう一つの側面に気付かされます。そんな中で、個人的に興味を持つたのは少数民族の暮らしです。あえて利便性を放棄し、昔ながらの生活を営む彼らの姿からマイノリティとして自らの文化を守る気高さを感じました。

グローバル化に伴い国際競争力が求められる反面、それぞれの文化・伝統を尊重することも同様に重要視されるようになっていきます。大学職員として、異なる文化圏から訪れる学生と真摯に向き合う「力」が今まで以上に求められていることを実感しています。

国際課 滝川 敏生



にわか剣士、ドヤ顔でポーズ

秋田大学大学院工学資源学研究科附属

鉱業博物館

Mining Museum of
Akita University

No.2

自然界が織り成す造形美
鉱物の魅力に迫る

鉱業博物館は、秋田大学の長年にわたる研究活動においてコレクションされた地質や鉱工業に関連した20,000点を超える資料を展示・保管しています。また、大学の最新の研究成果を地域社会に分かりやすく伝える役割も果たしています。展示棟では、国内及び世界各地から産出した様々な色や形の鉱物、珍しい岩石や化石、そして鉱工業に関連した資料などを多数展示しています。その中から、今回は「日本式双晶(水晶)」をご紹介します。

日本式双晶(水晶)

日本式双晶(水晶)。
形状からハート水晶、
蝶型水晶とも呼ばれます。

84度34分の角度で接合



日本式双晶は、2つの水晶がハート状に接合したもので形状からハート水晶、蝶型水晶とも呼ばれ、互いに84度34分の傾きで交差しています。明治時代に日本で採掘されたものがヨーロッパで大きく紹介されて話題となり、ドイツの岩石学者が名前を付けました。鉱業博物館では、山梨県乙女鉱山や長崎県奈留島など有名な産地の、透明できれいな標本を展示しており、鉱物の色々な表情を楽しめます。ぜひ足を運んでいただき、実物をご覧ください。



鉱業博物館1階ホール

【鉱業博物館】

- 開館時間／9時～16時
- 休館日／12月26日～翌年1月5日
- 入館料／〈個人〉大人250円
〈団体(30名以上)〉大人190円
※高校生以下無料
- お問い合わせ／☎018-889-2461

今回は、伝統芸能の復活に、学生力が呼び水となった取り組みをご紹介します。毎年、お盆の8月16日に開催されている阿仁の花火大会は、灯籠流しのある花火として、五十年もの歴史があります。その前座に獅子踊りや駒踊り、阿仁音頭などの伝統芸能が披露され、ひと頃は旧阿仁町の人口を遙かに上回る二万人の観客で賑わい、祖先の供養とともに人々の心を和ませてくれました。

しかしここ数年、伝統芸能のお披露目は途絶え、花火大会の開催さえ危ぶまれるなど、歴史的な営みの継承が課題となっております。そんなとき「秋田大学の学生さんでも来て、盛り上げてくれればなあ」という大会事務局のつぶやきが聞こえてきました。この一言がきっかけで、その二カ月後に、花火大会前座としての伝統芸能が復活したのです。

婦人会による伝統芸能「阿仁音頭」、鉾山に纏わる踊り「からめ節」は、観客の心に郷愁を呼び起こし、続く秋田大学よさこいサークル



秋田大学よさこいサークル「よさとせ歌舞輝」

伝統芸能復活の兆し！

「よさとせ歌舞輝」の力強い演舞「神剛（かみがた）」「燦（さん）」は、会場を一気に若返らせました。影響を受けた地元小・中学生は、大張り

「やつぱり、若いっていいよなあ…」周りから聞こえてくる声の方向に思わず目をやると、観客の表情が満ち足りていました。

伝統芸能は、老若男女で織りなすこと。「地域活性化ノート」に、また新たな一ページが加わりました。

秋田大学 分校長 だより Vol. 04

北秋田分校長
濱田 純

切り。「よつちよれ」「ニューソーラン」の懸命な演舞に、観客は拍手喝采。森吉ダンスキッズの賛助出演も飛び出し、会場を盛り上げます。続く小・中・秋大生による合同演舞で、会場の興奮は最高潮に達しました。最後は、比立内地区が誇る伝統芸能「駒踊り」の登場です。天空に響く太鼓の音と勇壮な踊りは数百年の刻の流れも鮮やかに、その後の灯籠流しと花火供養へと続きました。

Feel the World



秋田大学がお届けする写真館、その名も「Feel the world」。

秋田大学国際交流センター・国際課は世界の様々な国と交流を進めています。秋田大学、さらには日本を飛び出すと、そこに広がるのは新しい景色、新しい文化、新しい出会い。「Feel the world」ではそんな世界中からの一コマをお届けします。

現在は主にアジア地域の写真を公開中。この4枚はブータン、モンゴル、タイ、香港から1枚ずつピックアップしたものです。さて、それぞれの写真はどの地域に当てはまるでしょう。詳しくは秋田大学ホームページをご覧ください。

●「秋田大学」で検索!!



〈ヒント〉「ゲル」という名前の移動式住居です。

この牛のような生き物は？
〈ヒント〉秋田大学が協定を結んだあの国の国獣です。

〈ヒント〉看板の文字は漢字で書かれています。



〈ヒント〉仏教の国。祈ります。

まちのみんなに
「ナイス」なスーパー！

nice ナイス

外旭川店 (018) 868-2611
仁井田店 (018) 835-3111
新屋店 (018) 828-6911
割山店 (018) 865-6911

追分店 (018) 873-3211
八橋店 (018) 865-2211
仁井田南店 (018) 826-1811
土崎店 (018) 857-5211

お客様相談窓口(10:00~19:00)
0120-28-9995



① 赤田 拓文さん
Akata Hirotake

勤務先

秋田大学 工学資源学
研究科 技術部工学資源学部 機械工学科
平成21年3月卒業

【座右の銘】

虎穴に入らずんば
虎子を得ず

Answer



② 秋田出身ということもあり、地元で自分が学んだことを生かすために一番良い環境だと思ったからです。



③ 依頼された実験装置等の製作を行っています。機械工場にあるフライス盤や旋盤といった工作機械を用いて様々な金属を加工します。また、研究室で研究や実験の補助もしています。



④ 生活が規則正しくなりましたね。学生の頃は昼夜が逆転するほど乱れていたのによく改善できたものだなと。あと、以前より意識して挨拶するようになりました。心がけひとつで相手との良好な関係が築けるのでオススメです。



⑤ とりあえず、もっとはっちゃけておけばよかったです。就職してしまおうと思うようにできないことも多いので。



⑥ 技術面がまだまだ未熟でうまくできないことも多いので、先輩職員の指導のもと、さらに経験を積んで一人前の技術者になれるよう励んでいます。また、研究活動に携わる機会もあるので、最終的には技術と研究共に熟達した「ハイブリッドな職員」になるのが目標です。



⑦ 食欲の秋!! 「カツオ」が好きです。たたきにして、新米のごはんと一緒にいただくのは格別ですね。



⑧ 大学生には自由な時間がたっぷりあります。勉強、遊び、バイト、やりたいことを思うがままにどんどんやっていきましょう。そして、何事にも全力で取り組んでみてください。良い結果、悪い結果、いずれにしても必ずそれはあなたの糧になるはずです。皆さん、楽しい大学生活を送ってください。



① 佐藤 菜花さん
Sato Naka

勤務先

秋田大学 工学資源学
研究科 技術部工学資源学部 地球資源学科
平成18年3月卒業

【座右の銘】

継続は力なり

Answer



② 研究や実験に携わる仕事がしたかったので、技術職員という職種を選び、学び親しんだ秋田大学を就職先に決めました。



③ 研究室での研究や実験の補助、学生実験などを担当しています。



④ 先のことを考えて行動できるようになったと思います。並行していくつかの仕事をしなくてはならない時もあるので、効率よく仕事をするために、計画的に先を見据えて動くようにしています。



⑤ 英語力を身に付けておきたかったです。英会話ができれば、仕事でもとても役立ちますし、海外旅行だって楽しめますからね♪



⑥ どんな状況でも対応できるように、経験を積んでいきたいです。あと、まだまだ知識が足りないので、勉強して応用力も身に付けたいです。



⑦ スポーツの秋!! この頃あまり動いていないので、運動したいですね。



⑧ キャンパスライフを存分に楽しんでください! 今しかできないことに、たくさんチャレンジしてみてください!! 数年後、その時の思い出が励みになりますよ(^^)

先輩なう。

様々な現場で活躍している秋田大学OB・OGの「今(=11月)」をお届けします。ひと足先に秋田大学を卒業した先輩たちからのメッセージです。

【質問内容】

- ① 自己紹介
② 秋田大学を就職先に選んだ理由は?
③ 仕事内容
④ 「社会人になって変わった」と感じることは?
⑤ 学生時代にやってよかったこと、やり残したことはありますか?
⑥ 今後の目標(ビジョン)
⑦ 秋と言えはどの秋?
⑧ 後輩のみなさんにメッセージをどうぞ

秋田大学限定
〈あきぎん〉

教育ローン

[変動金利] 年2.475% 保証料込み



ご利用いただける方

秋田大学(大学院を含みます。)に入学または在学する「学生の扶養者」または「学生」の方
※その他諸条件がございます。詳細は店頭の説明書をご覧ください。

ご融資利率

[変動金利] 年2.475% (保証料込み)

※金利情勢の変動によっては、金利を見直す場合があります。

ご融資金額

10万円以上 500万円以内

[医学部医学科の場合]

10万円以上 1,000万円以内

ご融資期間

15年以内 元金据置期間5年以内(在学期間以内)+
返済期間10年以内(120回返済以内)とさせていただきます。

[医学部医学科の場合]

17年以内 元金据置期間7年以内(在学期間以内)+
返済期間10年以内(120回返済以内)とさせていただきます。

※店頭・ホームページでご返済額の試算ができます。
※くわしくは店頭の説明書をご覧ください。

秋田銀行
http://www.akita-bank.co.jp/

ニュース & トピックス News&Topics

工学資源学部 の学生が「MOS世界学 生大会2012」で 8位に入賞



7月29日から8月1日に
けて、アメリカ・ラスベガスに
開催された「MOS(Microso
ft Office 2010)世界学生大
会2012」に秋田大学工学資
源学部4年生の本郷晋也さんが、バ
ワイポイント部門日本代表として
出場し、世界第8位に輝きました。
MOSとは「Microsoft Office
の利用スキルを証明できる資格の
こと」で、今回の大会には世界53
カ国から延べ52万1千人、日本か
らは延べ6万5千人もの学生が参
加。その中から選ばれた各国の代
表がそれぞれワード、エクセル、パ
ワーポイントの各部門でスキルを
競いました。
本郷さんは2年間、研究やア
ルバイトと平行して資格取得の
勉強をこなし、念願の日本代表
に選出され、今回の結果に結び
付きました。

秋田大学竿燈会、秋 田竿燈まつりに連続 42回の出場



が参加しました。
19日の一般公開日には、小学生
がペットボトルで作った水ロケッ
トの競技会やモデルロケットの打
上げを体験しました。ま
た、23日と24日には、火
薬類を使わない「ハイブ
リッドロケット」の打上
げが実施され、秋田大学
と東海大学が打上げに成
功しました。
参加大学が作成したオ
リジナルのTシャツコン
テストや、大学生による

国の重要無形民俗文化財に指定
されている東北三大祭りのひとつ
秋田竿燈まつりが8月3日から6
日まで行われ、秋田の夏を大いに
盛り上げました。秋田大学の教職
員で構成する秋田大学竿燈会も昭
和46年の初出場以来、今回で連続
42回の出場を果たし、また、まつり
2日目には附属特別支援学校が28
年連続の出場を果たしました。
今年の秋田竿燈まつりは、過去
最多の261本の竿燈が出陣し、
笛の合図で開始が告げられると竿
燈が一斉に立ち上がり、通りは光
の稲穂で埋め尽くされました。秋
田大学も、高さ12メートル、重さ
50キロに及ぶ「大若」2本を出竿
し、笛や太鼓の勇壮なお囃子の音
と「ドッコイシヨ」の掛け声に合
わせ、「差し手」たちが連日みごとな
演技を披露して観客から盛んな拍
手を浴びていました。

第8回能代宇宙イ ベントを開催

ロケットの打上げなどをとお
し、大学生や高校生が宇宙にチャ
レンジするイベントが8月17日か
ら24日にかけて能代宇宙広場秋
田県能代市浅内第三鉱さい堆積
場で開催されました。秋田大学
をはじめとする複数の大学と秋田
県、能代市等で運営する能代宇宙
イベント協議会の主催で、全国か
ら約400人の大学生や高校生

生体情報研究セン ター設置記念式典 を開催



モデルロケット・ハイブリッドロ
ケット打上げなどの様々なイベン
トが行われ、会場は30000人を
超す参加者で賑わいました。

8月30日、生体情報研究セン
ター設置記念式典を開催しました。
生体情報研究センターは「21
世紀COEプログラム」及び「グ
ローバルCOEプログラム」で培
われた、生命科学の分野における
秋田大学と群馬大学の連携の成果
を発展させるために秋田大学側の
中心組織として、また、秋田大学の
重点的研究の一つである、生命科
学における最先端の研究を行う組
織として平成24年4月1日に設置
されました。



当日は式典に先立ち、原田彰宏大
阪大学大学院医学系研究科教授、
三浦正幸東京大学大学院薬学系研
究科教授による記念講演会が開催
されました。
また、31日には「グローバル
COEプログラム」生体調節シグ
ナルの統合的研究(群馬大学・秋
田大学連携)のさらなる展開」を
テーマとしたシンポジウムを開
催。群馬大学・秋田大学の研究者に
よる発表が行われ、出席者による
活発な意見交換がなされました。

秋田大学北秋田 分校教養セミナー 「ブータン王国か ら学ぶこと(真の幸 せとは)」を開催

秋田大学北秋田分校は9月20
日、北秋田市文化会館ホールで秋
田大学北秋田分校教養セミナー



「ブータン王国から学ぶこと(真の
幸せとは)」を開催しました。秋田
大学国際交流センターの西田文信
准教授が、現在、世界中から注目を
集めているブータン王国の歴史や
文化、政策、日本との関わりなど
について解説。ブータン王国への理
解を深めました。

東北公益文科大学 と連携協定を締結



秋田大学と東北公益文科大学は
10月3日に連携協定を締結しまし
た。東北日本海側地域にある大学
として、相互の教育・研究の一層の
進展を目指すとともに、地域貢献
及び国際交流活動など活発な交流
や連携強化に組織間で取り組むこ
とが目的です。

締結式では、吉村昇秋田大学長
が「同じ日本海側に位置する高等
教育機関として、両大学から優れ
た人材を育て、日本海地域から日
本や東アジアをリードする人材を
育てたい」と挨拶。町田壽東北公益
文科大学長も「秋田と庄内は、古く
は出羽の国として一つであり、東
アジアも見据えた日本海側地域の
連携が重要だと考え、庄内にある
大学として、地方から日本を背負
う人材を輩出したい」と話しまし
た。今後、共同教育プログラムを開
発し、東北日本海地域における次
世代の地域活性化リーダー育成な
どを図ります。
今回で秋田大学と他大学間との
協定締結は6件目となります。

秋田の食の魅力を発信する2つのイベント！

なかいち秋の収穫祭

会場：エリアなかいち にぎわい広場 [9:00～]

物産販売店舗

(株)秋田雑穀村
こまち食品工業(株)・八郎ファーム
(有)三浦米太郎商店
(有)あぐり大内
サトウ製麺
(有)華の豆会
(株)島海高原コースパーク花立牧場工房ミルジ
(株)相川ファーム

ササキダチウファーム
(株)トースト
有限責任事業組合京彩会/京にしき
竜燈銭(よしこの店居屋)
(有)さっぽろ屋
秋田まるごと市場
あきた北央農業協同組合
スローフードこのみ

(合)高橋麴店
JA鹿角女性部まごころ直売所
細越加工グループ
ハバ・パティシエ
はるみキッチン
北秋田特産林産物
べんしょん孫兵衛
平野りんご園

飲食関連店舗

やすぞう
ラジオスパー
光琳
秋田親睦会
秋田市飲食店組合環同連合会
なかや
鮎・居酒屋 佐勤
蕎麦ギャラリーSAY
ボークランドグループ

11月4日

秋田の味覚が産地直送
で、なかいちで大集合！
野菜や果物、肉や魚か
ら、加工品やお酒まで秋
を彩るグルメな収穫祭
をお楽しみください。

11月5日

おいしい秋田を全国に発信しよう！ セミナー&ビジネスマッチング

秋田の食の魅力を発信するために、商品開
発や、市場ニーズの参考となるセミナーや
ビジネスマッチングを開催いたします。

10:00

「魅力ある商品づくりは、魅力ある人づくりから」
丸果秋田県青果株式会社
代表取締役社長

高橋 良治氏

11:00

「市場や流通業者が欲しい農産物とは」(仮題)
株式会社九州屋
専務取締役

中村 郁男氏

会場 セミナー／秋田市にぎわい交流館3F 多目的ホール
ビジネスマッチング／秋田市にぎわい交流館4F 研修室

10:00～16:00

秋食 in なかいち AKISHOKU in NAKAICHI

2012 11 4 5
SUN MON

秋田まちづくり株式会社
〒010-0001 秋田市中通一丁目4番3号 商業施設 2F
TEL.018-874-7500

主催：秋田まちづくり株式会社
後援：秋田県・秋田市・秋田市飲食店組合環同連合会
協力：株式会社秋田まるごと市場

■ 教育研究プログラム等採択状況
(平成24年7月1日～9月30日採択分)

制度名	プロジェクト名	事業期間 (年度)	交付金額等 (単位:千円)	所属・事業代表者
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	石綿含有災害廃棄物からの環境 浄化材製造技術の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 和嶋 隆昌
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	溶融炭酸塩の電析法を用いた高 効率ネオジム磁石リサイクル技 術の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 福本 倫久
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	災害救助用遠赤外線カメラに用 いる焦点可変制御素子の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 河村 希典
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	被災地等遠隔医療にも応用可能 な癌の位相幾何的アルゴリズム 診断技術の開発	24～ 25年度	1,690	医学系研究科 後藤 明輝
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	土壌からの除塩および重金属除 去用余剰汚泥のイオン吸着電極 変換技術の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 鈴木 雅史
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	高導電率・高透過率下地層を用 いたヒ素・量子ドットレス薄膜 太陽電池の製造技術の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 佐藤 祐一
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	リモートセンシングデータを用 いた震災廃棄物量推定法の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 景山 陽一
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	省エネルギー・省貴金属型揮発 性有機化合物燃焼触媒の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 加藤 純雄
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	超低消費電力型磁気記録装置の 開発に役立つ強磁性・強誘電薄 膜の磁気・電気特性同時評価シ ステムの開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 吉村 哲
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	生コンスラッジ廃棄物の燃焼ガ スからの有害物質の回収への適 用性の検討	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 宗像 健三
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	災害身元不明者の早期保護が可 能となる義歯へのレーザー加工 刻印技術の開発	24～ 25年度	1,690	附属病院 田中 清志
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	地震後の降雨に伴う土砂災害危 険時の自治体と住民との減災情 報共有技術の開発	24～ 25年度	1,690	地域創生センター 水田 敏彦
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	炭素還元を利用した廃石膏から の酸化カルシウム再生技術の開 発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 加藤 貴宏
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	震災で脊椎損傷を煩ったベットの 簡易・安全脊椎固定インプラ ントの開発	24～ 25年度	1,690	附属病院 菅原 卓
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	被災地域の衛生環境改善を可能 とする発酵食品成分由来殺菌剤 の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 伊藤 英晃
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	レアメタルレス・低公害プロセ スで製造する酸化チタン系高性 能熱電材料の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 布田 潔
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	ハルス磁場を用いた磁気力顕微 鏡探針の保磁力検査システム	24～ 25年度	1,690	ベンチャー・ビジネス・ ラボラトリー 木下 幸則
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	ホップやウルイなど被災地の未 利用農産物を活用した健康食品 素材の開発	24～ 25年度	1,690	教育文化学部 池本 敦
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	超音波微細水滴を用いた屋内撤 去活動に伴う粉塵飛散の抑制技 術の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 大川 浩一
JST 平成24年度 復興促進プログラム (A-STEP) 探索タイプ	根酸構成成分による農地土壌か らのセシウム及ストロンチウム の除去と放射性廃液の濃縮・ 減量技術の開発	24～ 25年度	1,690	工学資源学研究所 村上 英樹

■ 人事異動情報(平成24年7月2日～10月1日)
【掲載対象は、部局長等・教授以上】

発令年月日	新配置	旧配置	氏 名
教職員[採用・退職・昇任等]			
平成24年9月1日	大学院工学資源学研究所 教授	大学院工学資源学研究所 准教授	坪井 ひろみ
平成24年10月1日	教育文化学部教授	教育文化学部准教授	上田 由紀子
平成24年10月1日	教育文化学部教授	教育文化学部准教授	内海 淳
平成24年10月1日	大学院工学資源学研究所 教授	大学院医学系研究科 准教授	涌井 秀樹

■ 海外渡航(学生)【学生の海外派遣事業等】

事業名または経費	所属学部等名・氏名	留学先大学名(国名)	渡航期間
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国語言語文化課程 [1年] 磯谷 匠	短期研修／ ビクトリア大学英語センター (カナダ)	24.9.3～ 24.9.29
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国語言語文化課程 [1年] 佐藤 華奈	短期研修／ ビクトリア大学英語センター (カナダ)	24.9.3～ 24.9.29
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国語言語文化課程 [1年] 柴田 朱里	短期研修／ ビクトリア大学英語センター (カナダ)	24.9.3～ 24.9.29
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	工学資源学部 生命化学科 [1年] 佐藤 晶子	短期研修／ ビクトリア大学英語センター (カナダ)	24.9.3～ 24.9.29
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	工学資源学部 材料工学科 [4年] 酒井 亮	短期研修／ ビクトリア大学英語センター (カナダ)	24.9.3～ 24.9.29
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	工学資源学研究所 地球資源学専攻 [1年] 山内 祥行	短期研修／ チュロロンコン大学(タイ)	24.8.10～ 24.8.25
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	医学部 医学科 [1年] 藤田 環	短期研修／ ケニヤッタ大学他(ケニヤ)	24.8.26～ 24.9.17
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [2年] 佐々木 夏海	短期研修／ ケニヤッタ大学他(ケニヤ)	24.8.26～ 24.9.17
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [2年] 佐々木 美祐	短期研修／ ケニヤッタ大学他(ケニヤ)	24.8.26～ 24.9.17
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [2年] 三浦 奈月	短期研修／ ケニヤッタ大学他(ケニヤ)	24.8.26～ 24.9.17
秋田大学学生 海外短期研修 支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [2年] 山村 耀	短期研修／ ケニヤッタ大学他(ケニヤ)	24.8.26～ 24.9.17
秋田大学学生 海外派遣支援事業	工学資源学部 生命化学科 [2年] 中村 隆太郎	交換留学／ ボツワナ大学(ボツワナ)	24.8.14～ 25.5.31
秋田大学学生 海外派遣支援事業	教育文化学部 学校教育課程 [3年] 中林 侑大	交換留学／ セント・クラウド州立大学(米国)	24.8.19～ 25.5.11
秋田大学学生 海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [3年] 平山 知実	交換留学／ 蘭州大学(中国)	24.8.26～ 25.7.30
秋田大学学生 海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 [3年] 千田 美穂	交換留学／ ブカレスト大学(ルーマニア)	24.9.27～ 25.7.2



B級ご当地グルメ
横手やきそばも食べられる！
●もぐもぐ広場



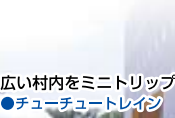
東北最大級の
プラネタリウム
●星空探険館スペースシア



特産品1万点の品ぞろえ
●ふるさと市場



おみやげも、思い出づくりも
ここにおまかせ！
●手づくりスタジオ



広い村内をミニトリップ
●チューチュートレイン



入村
無料

※各施設により
入館料が必要な
場合があります。



秋田ふるさと村
キャラクター「ジブ君」



雨でも
安心! 全天候型
テーマパーク



秋田ふるさと村
Kamakuland
秋田県横手市

秋田自動車道 横手I.C.すぐそば
JR横手駅から バスで15分
〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
TEL.0182-33-8800(代)

駐車場はらくらく
3000台
無料

詳しい情報は
ホームページをクリック!

秋田ふるさと村

検索

秋田大学の研究を支える 産学連携コーディネーターとは

前 編

（独）科学技術振興機構（JST）の競争的資金であるA-STEP（復興促進プログラム）に秋田大学から20件の研究が採択され、10月1日より研究がスタートした。これらの研究は、秋田大学産学連携推進機構のコーディネーターと研究者の共同申請により採択されたものである。産学連携の強化を図る上で、重要視される産学連携のコーディネーター。秋田大学では伊藤慎一コーディネーターがその一翼を担う。



現在、オープンイノベーションの議論が進むにつれて、地方の中規模大学における産学連携の重要性が論じられています。私は秋田大学の産学連携を実務面から担うコーディネーターとして、大学研究者の皆さまの産学連携におけるワンストップ支援を行っています。

この活動の基幹となっているのは、前職である（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）のNEDOフェロー時代に遡ります。当時から「知的財産を意識した事業化推進コーディネーターの推進」をミッションとしており、入口から出口までの一貫した研究プロジェクト支援を行っていました。現在は、この活動を通して、次の9つの項目①研究シーズの発掘②知的財産の目利き③シーズニーズのマッチング④企業との共同研究の構築⑤大型競争的資金への申請支援⑥新しい研究プロジェクトの構築⑦学



の創出⑨地域の産学連携支援と、横断的に産学連携に係る問題の解決をしています。このような取り組みを継続することで、秋田大学の競争的資金採択件数はフィリジビリティスタディ研究（以下、FS）を中心に、年々増加しており、全国的にも高いレベルの採択数を得るまでに至りました。今後については、これまで以上にFSの研究費獲得を支援すると同時に、

採択されたFSをさらに大きな研究に仕上げていき、群化して秋田大学の次世代看板研究に磨き上げることを目指します。

また、産学連携学会においては「次世代を担う若手研究者の支援」をテーマに発表を行うっており、若手研究者の皆さまが研究しやすい環境を産学連携面からサポートするシステムを構築していきたいと思っています。このように、単に競争的資金獲得だけではなく、応用研究を側面から一貫してサポートしています。今後も地域発の新技术創出に向けて頑張っていきたいと思っています。

ものづくり創造工学センター 学生自主プロジェクトの紹介

センター長

神谷 修

Kamaya Osamu

秋田大学生たちによる学生自主プロジェクトの活動も長期休暇を経てますます活発に、そして様々な成果があがってきました。多くのプロジェクトで地域の方々や地元企業との連携した活動も目立っています。

その中でも、ひととき活躍している「秋田まるごと！GABAヘラアイス」プロジェクトをご紹介します。今年から新たにスタートし、女子学生を中心に、地域の方々と連携するなど素晴らしい活動を展開しています。今回はその様子を工学資源学部環境応用化学科の倉田伊吹さん、寺田千尋さんに紹介してもらいましょう。

GABA（ギャバ）とは？
動物や植物にもともと含まれている天然のアミノ酸の一種。抗ストレス作用やリラックス効果がある。

「秋田まるごと！GABAヘラアイス」プロジェクト

私たちは、秋田名物バヘラアイスをヒントに、季節毎に変わる秋田県のおいしい食べ物と、秋田大学が独自に開発した米糠由来の酵素によりGABAを生産する技術（特許第4537486号）を用いて、秋田大学オリジナルのGABA入りアイスを開発することで、



能代宇宙イベント

「秋田の活性化を図りたい」という目標の下に集まった、環境応用化学科の学生の「女子会」です。これまでに行った主な活動は、アイスに用いるGABA入りシロップの開発を5月から始め、7月のオープンキャンパス、そして8月の能代宇宙イベントでプロジェクト初のオリジナルアイスをお披露目し、試食会を行いました。佐竹秋田県知事をはじめ、全国各地から集まった500人を超える方々に試食していただき、好評のうちに終わることができました。また、イベントを通じて能代山本地区の方々と交流を深めることもでき、これをきっかけに、八峰町で伝統的な製法を用い、しよつるを製造している「ひより会」との交流が始まりました。現在、ひ

工学資源学部
環境応用化学科
倉田伊吹／寺田千尋



「秋田まるごと！GABAヘラアイス」プロジェクトと「ひより会」の皆さん

イベント&講座・講習会

〈催し物〉……………

「市民のための夜間天体観望会」

- 毎月第1土曜日
- 秋田大学手形キャンパス ☎018・889・2655

秋田大学教育文化学部 附属特別支援学校ミニ学校展

附属特別支援学校の教育活動の写真や児童生徒の作品を展示する。

- 10月30日(火)～11月6日(火)10:30～17:00 (土日祝日は除く)
- 秋田大学インフォメーションセンター
- 入場無料 ☎018・862・8525

次世代がん治療推進 専門家養成プラン in AKITA ～秋田県の明日のがん医療を考える～

次世代がん治療推進専門家養成プランの内容、がん治療の現状や今後の課題などについて講演する。

- 11月3日(土)10:30～12:30
- 秋田温泉さとみ(秋田市添川境内川原142-1)
- 参加無料 ☎018・884・6543

秋田産学官共同研究拠点センター 新技術説明会

大学等のライセンス・共同研究可能な特許(未公開特許を含む)を発表。発明者自身が企業関係者を対象に実用化を展望した技術説明を行い、広く実施企業・研究パートナーを募る。

- 11月6日(火)13:00～16:05
- 科学技術振興機構JST東京別館ホール(東京・市ヶ谷)
- ☎018・889・3020

山本作兵衛氏炭坑記録画展

ユネスコ世界記憶遺産にも登録された、石炭採掘現場の様子と坑夫の生活風景画を展示する。

- 11月6日(火)～25日(日)9:00～16:00
- 秋田大学大学院工学資源学研究科附属鉱業博物館
- ☎018・889・2461

ブータン展

ブータンシンポジウムの開催にあわせ、ブータンで撮影した写真や民家の再現パネル、民族衣装を展示する。

- 11月7日(水)～14日(水)10:30～17:00(土日は除く)
- 秋田大学インフォメーションセンター
- 入場無料 ☎018・889・2856

ブータンシンポジウム ブータンに学ぶ「幸福学」

平成24年7月6日に、秋田大学と国際交流協定を締結した王立ブータン大学の理事らを招き、幸福やGNH(国民総幸福量)教育をテーマにシンポジウムを開催する。

- 11月8日(木)14:00～17:00
- 秋田大学60周年記念ホール
- 参加無料 ☎018・889・2856

第17回 秋田肝臓大学

秋田大学肝疾患相談センターの三浦光一特任講師、秋田大学消化器内科の澁谷友美医員がそれぞれ「肝疾患～最新の話～」について講演する。

- 11月10日(土)10:00～11:00
- 秋田大学医学部医学系研究棟4階6講義室
- 参加無料、予約不要 ☎018・884・6297

平成24年度 三大学連携事業 留学生とおしゃべりCooking in 男鹿市

秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学が連携して開催。各大学へ通う留学生が母国の料理を男鹿市の小学生と一緒に作る。

- 11月17日(土)10:00～13:00
- 男鹿市脇本公民館(男鹿市脇本字前野8)
- 要申込(男鹿市内の小中学生で保護者同伴可)、先着20名 ☎018・872・1522(秋田県立大学)

平成24年度 秋大憩いのコンサート

【第26回】●11月18日(日)14:00～
情熱のスパニッシュ・ピアノ／アルベニス、グラナドス、ファリャ…スペインの小品を集めて

【第27回】●12月15日(土)14:00～
学生によるクリスマス・コンサート／ピアノ、声楽、管楽器、合唱

【第28回】●1月27日(日)14:00～
ピアノ三重奏の魅力 ピアノトリオ“コレンテ”／メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲 二短調 作品49～第1楽章 ほか

【第29回】●2月17日(日)14:00～
ザ・ロマンティック・ピアノ／おしゃべりピアニスト“アラタマン”による華麗なるワンマンショー

【第30回】●3月23日(土)14:00～
美しい春の調べ／春にちなんだ歌とピアノの名曲

- 秋田大学インフォメーションセンター

- 入場無料 ☎018・889・2647

平成24年度 第2回北秋田分校教養セミナー 秋田のことば～老人(シニア)と若者の～

地域のことばは生活を支え、人を育む大切なもの。秋田のことば、特にシニア世代と若者のことばの違いに着目して解説する。

- 11月21日(水)14:00～15:10
- 秋田北鷹高等学校大講堂(北秋田市伊勢町1-1)
- 定員220名、要申込
- ☎0186・62・1111(北秋田市役所)

平成24年度 メディカル・サイエンス カフェ・ネクスト 健康長寿社会のために ～あなどれない高血圧・高血圧管理と運動～

高血圧症に代表される生活習慣病は、生活習慣の修正によって治療の効果が得られる。血圧をコントロールして元気で長生きするために、生活習慣の修正、特に運動の大切さについて解説、意見交換を行う。

- 11月21日(水)15:30～17:00
- 秋田北鷹高等学校大講堂(北秋田市伊勢町1-1)
- 定員220名、要申込
- ☎0186・62・1111(北秋田市役所)

産学イブニング・サロンあきた (SESSA)

産(企業)、学(大学)、官(行政)が集い、語らいながら秋田の未来につながるヒントを探し、切磋(SESSA)琢磨することを目的に開催。

【第8回】●11月22日(木)、【第9回】●12月27日(木)、【第10回】●1月24日(木)、【第11回】●2月28日(木)、【第12回】●3月28日(木)

毎週第4木曜日 18:00～20:00
●秋田大学手形キャンパス 大学会館
●会費1,000円 ☎018・889・2712

〈講座・講習会〉……………

平成24年度 秋田大学公開講座 「睡眠について ～保健学の視点から～」

健康と密接に関係がある睡眠。医師の観点、看護師の立場、臨床心理士の視点から睡眠について解説する。

- 11月7日(水)～11月28日(水)毎週水曜日(全4回)18:30～20:00(初回・最終回は20:10まで)
- カレッジプラザ(秋田市中通2丁目1-51)
- 受講料2,000円、要申込 ☎018・889・2270

秋田大学学生への「教育研究支援基金」のご協力をお願い申し上げます。

秋田大学では、教育研究等の充実・発展のため「秋田大学教育研究支援基金」を創設しております。この基金の趣旨をご理解いただき、皆様のあたにかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。(詳しくは秋田大学ホームページをご覧ください)

- http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。寄附金については秋田大学の教育研究、社会貢献・国際交流活動、学生支援等の充実のため有効に活用させていただきます。今後とも秋田大学の教育研究活動等に対し、格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ご協力いただいた皆様】(平成24年8月～9月末)

- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 仙台営業所 様
- 三和テッキ株式会社 様

【お問い合わせ先】秋田大学 教育研究支援基金事務局

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 TEL:018-889-2264(担当 学生支援課)

秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

Aprire

募集

・取り上げてもらいたいテーマ
・表紙モデル(秋田大学生)
・広告掲載 etc…
企画広報課までお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先
TEL:018-889-3019 FAX:018-889-2219
E-mail:kouhou@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学 企画広報課

編集後記

グローバル化が大学教育においても急速に進んでおり、教職員や学生の海外の大学との交流が年々増加。それに伴い、学生に「国際的に活躍できる能力」を身に付けさせる必要性が、以前にも増して高まってきています。現代は本当に世界が近く、世界を知らないとは生きていけない時代となっているのではないのでしょうか。

そのような情勢を踏まえ、今回は「国際化に対する秋田大学の挑戦」を特集しました。秋田大学の留学生数はこの10月で200人を超え、10月1日には秋季留学生歓迎式を開催。キャンパスでは日本語以外の言語でコミュニケーションしている姿が目立つようになり、国際色豊かな雰囲気となってきましたように感じています。

秋田大学は今、国際資源学部(仮称)の平成26年度創設や学部改組に向けて改革を進めています。これらの改革・改組を契機として、海外に留学したような環境のキャンパスになったら良いなと思っています。

さて、今回の表紙のモデルは、医学部2年の柴田さん。今年、18年ぶりに開催された秋医祭(医学部祭)のミステリアスな秋医祭に選ばれた学生さんです。撮影場所は、医学部附属病院シミュレーション教育センター。表紙は秋をイメージし、落ち着いた色彩としました。(悟空)